

大学名：新潟医療福祉大学

住所：新潟県新潟市北区島見町 1398

電話番号：025-257-4455（代表）

養成開始：2008年度



地域住民を対象とした
運動教室の様子

健康運動指導士養成における我が大学の方針、目的や目指す方向性等

本学健康スポーツ学科は、スポーツや運動の指導・支援を通して、対象者のQOL向上を第一に考え、そのための支援を実践できる人材の育成に努めています。カリキュラムは、1－2年次の教養教育・専門基礎教育を基盤に、健康スポーツ科学分野における専門教育（健康医科学・コーチング科学・スポーツマネジメント・スポーツ教育）を網羅的に進めています。

健康運動指導士の養成方法やその特徴

- ① **他職種間連携教育** 保健・医療・福祉・スポーツの総合大学であるメリットを活かし、「他職種間連携教育」を実践しています。異なる学科の学生がひとつのグループを形成し、QOL向上に向けた課題解決に取り組むことで、分野間の相互理解を深め、将来、現場で必要となるチームワーク技法を学びます。
- ② **理論と実践を融合したアクティブラーニング** 運動・栄養・休養に関する分野横断的な学習内容に加え、「理論」と「実践」の往来を意識した縦断的なアクティブラーニングを実施しています。特に、健康づくり分野におけるPDCAの中核を担う科目（体力測定、運動処方、栄養など）では、講義科目と実習科目を系統的に配置することで、「健康づくり現場実習」における学習の深化を図っています。

我が大学の魅力・PRポイント

本学は、保健・医療・福祉・スポーツのプロフェッショナル、すなわち、「優れたQOLサポーター」の育成を基本理念としています。そのミッション達成に向けて、実践的な教育活動（地域住民を対象とした運動教室の開催など）、チームにおける連携教育活動（他職種間連携教育など）、幅広い教養教育活動（全学的な教養体育の必修化など）、問題発見・解決力を養う研究活動（卒業研究やUROPなど）、卒業後教育活動を進めています。

その他（今後取り組みたいこと等）

対象者のQOLを高めることが、支援者自身のQOL向上に結びつく人材を育成したいと考えています。そのための取り組みとして、①資格取得率向上のためのE-learningシステムの確立、②学生・卒業生主体の健康支援サークルの立ち上げを実施しています。